

■電子新聞（2016年11月21日付け）2面

Copyright © The Electronic Times Co. & The Electronic Times Internet Co. All Rights Reserved.



国防技術品質院が発注したDBMS分離事業に、ティーマックスソフトのデータベース管理システム（DBMS）「Tibero」の導入が確定した。ティーマックスソフトの研究員がサーバー室でTiberoのテストを行っている。

ティーマックスソフトのDBMS「Tibero」、

TTA評価でOracleを抜く

ティーマックスソフトのデータベース管理システム（DBMS）「Tibero（ティベロ）」が、韓国情報通信技術協会（TTA）の主管するパフォーマンス評価で、初めてOracleを抜いた。グローバル・ベンダーがリードしているDBMS市場で、Tiberoの性能に対する認識を変える事例として注目される。

20日、ティーマックスソフトによると、最近国防技術品質院が発注したDBMS分離事業にTiberoの導入が確定した。

今年から公共機関では分離発注対象のソフトウェアを購入する際に、品質性能評価テスト（BMT）の結果を技術性評価に反映している。国防技術品質院は、合計90点の技術評価でBMT結果に45点を配点した。技術提案書に配点された45点と価格点数10点を足して合計100点満点を基準として事業者を選定した。

国防技術品質院事業にティーマックスソフトとオラクルが入札し、両社はTTAが主管するBMTに参加した。同一環境で性能評価を実施した結果、計27項目のうち、Tiberoは16項目、Oracleは11項目で

それぞれ優位に立ち、Tiberoが5つの項目でOracleを抜いた。

提案書の技術評価でもTiberoが0.5点高かった。国防技術品質院は、BMT点数、提案書の技術評価点数、価格点数を足して最高点を獲得したTiberoを最終的に選んだ。

Tiberoが、TTAの主管するBMTでOracleを抜いたのは今回が初めてである。これまでTTA主管のBMTが何回か行われたが、Tiberoがパフォーマンス評価でOracleと直接対決したのは今回が2度目である。先立って行われた某公共機関のBMTではOracleがTiberoを抜いた。

ティーマックスソフトの関係者は、「公認された認証機関の評価でTiberoがグローバル・ベンダーの製品に比べて性能が劣らないということを証明した初の事例だ」と話し、「Tiberoの性能がOracleに及ばないという不信感を払拭できる」と、その意義を明かした。

これを機に、グローバル・ベンダー主導のDBMS市場でTiberoに対する認識が改善されることが予想される。

業界の関係者は、「グローバル・ベンダーの製品より価格が低いという理由だけで市場で競争するには限界がある」と述べ、「価格と並んで技術も備えているという評価が続いており、Tiberoの導入が拡大するだろう」と伝えた。

電子新聞（2016年11月21日付け）

キム・ドンウク記者（gpphoto@etnews.com）